

2022年度 3学期 聴講のための授業案内

3学期は11月24日（木）から2023年3月14日（火） 冬休み12月10日（土）～1月10日（火） 授業再開日は1月11日（水）

曜日	科目名	講師・教師	授業内容
火曜日	ギリシャ語釈義① (統語)	小澤和男師	ギリシャ語の初級文法を学んだ学生は、新約聖書の原文にあたりながら、ワレスの文法書を用いて、より深く、より正しく読む知識を積み重ねていきます。
	キリスト教史③	川崎憲久師	「知識もなしに言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。」（ヨブ記38：2） 歴史を知ることを通して神の摂理に対する信仰の目が養われます。
	ローマ書	小澤和男師	難解と思われているローマ書ですが、パウロが用いている救いに関する動詞を手がかりにして、全体を整理しながらキリスト者の苦しみと神による励ましに目を留め、さらには自分の姿を振り返ります。
水曜日	ヘブル語文法①	松元 潤師	旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。 初めてのの方は「今学期」からご参加ください。
	旧約聖書通論③	吉田浩二師	通年）創世記から小預言書までを3学期かけて学びます。 各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。
	使徒の働き	吉田麻希子師	使徒の働きの概要をつかみ、主の聖霊に導かれ満たされて宣教と教会形成に励んだ姿から学びます。
木曜日	人間・罪論①	松元ハンナ師	聖書の示す人間観を学びます。 神に似た者として造られた人間でありながら、神との交わりを拒み、歪曲している罪の問題を組織神学の視点から捉え、人間とは何者なのかを共に考えます。
	異端・弁証論	吉永沙織師	キリスト教信仰が確かな根拠に基づいていることを学ぶとともに、キリスト教信仰に反対する考え方、世界観をもつ人々に、私たちのもつ希望について弁明できるようになることを目指します。
金曜日	教会音楽I	遠藤 稔師	教会で使われる音楽、そして歌の内容について聖書を通して神さまは私たちに多くのことを教えてくださっています。聖書が教える教会音楽について、ひたすら聖書から学び、分かち合うクラスです。初めての方でも参加できます。
	Iコリント	中川昭一師	コリント教会は多くの問題を抱えた教会でした。 同時にそれはいつの時代の教会にも共通する問題です。コリント書から“教会病理学”という視点で、教会について共に考えていきたいと思います。
	新約聖書緒論	杉本 潤師	新約聖書が27巻に至った歴史や本文決定に至る背景（本文批評）を見、私たちの手にある新約聖書が神のことばであることへの理解を深めます。
	出エジプト記	齋藤謙治師	「神の民」の原点を語る出エジプト記は、旧新両約聖書を貫いている神の救いのご計画を知る上で必要不可欠な書です。 新約聖書に至る流れも意識しつつ、ともに聖書の世界を旅していきましょう。
土曜日	新約聖書通論③	吉田麻希子師	通年）新約聖書の各書巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。
	ヘブル語釈義③	松元 潤師	文法を学んだ方が受講できます。 神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。 単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。

（聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。）

※2 聴講料は1科目につき、1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。（1ヶ月5,000円×3回）

複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。